気候変動：CHALLENGE in STADIUM

1 CHALLENGE in STADIUM　地球にやさしいサッカースタジアムの実現を目指します。

25年度の主な活動実績

フードドライブ・環境啓発ブース出展

6/28 柏レイソル戦および10/4 FC東京戦にて、株式会社故紙センタートヨタ・静岡市と連携しフードドライブを実施。クイズやワークショップなどのブースを出展し環境啓発を行った。

回収した食品の重量　**72.2 kg**

環境啓発ブース来場者数　延べ 約**600人**

CO_2 排出削減量　約**33.2kg**

※ 静岡県地球温暖化防止活動推進センター調べ

スタジアムにおける水循環

スタジアムの敷地内から湧き出る湧水を活用し、環境負荷の低減を図る循環型の水利用システムを構築。湧水を滅菌処理し、雑用水としてトイレ洗浄や芝生ピッチ散水用水として再利用。

年間節水量

7,652 ㎥ (※1)

ソーラーカーポートの設置

しずおか未来エネルギー株式会社がスタジアムの正面広場に「ソーラーカーポート」を設置。サポーターへの雨・日よけの活用もできることから、クラブは静岡市への設置依頼やPR協力等を実施。発電した電気はRE100電気として静岡市役所３庁舎の電力を賄っている。

年間発電量

54,545 kWh (※1)

※1：算定対象期間は 2025年1月～12月

気候変動：CHALLENGE with SUPPORTER

2 CHALLENGE with SUPPORTER　ファン、サポーターと共に環境問題に取り組みます。

25年度の主な活動実績

環境出前授業の実施

行政、企業と連携し、静岡市・富士市・富士宮市にて環境出前授業を実施。静岡市内の小学４年生へオリジナルのエコノートを配布し環境教育を推進。

訪問学校数
12 校

参加人数
673 人

エコノート配布数
約 5,000 冊

三保松原保全啓発

静岡市、株式会社故紙センタートヨタと連携し、クラブハウス・練習場のある三保半島の世界文化遺産『三保松原』の保全啓発活動を実施。
年間を通じた松葉かきキャンペーンをはじめ、選手参加イベント、ホームゲームでの啓発、オリジナルクイズシートの作成等を行った。

参加人数
延べ 約 1,000 人

エコ来場の促進

11/9 セレッソ大阪戦において、事前にエコ交通でのご来場を呼び掛け、当日ファン・サポーターが特設ブースにてエコ来場チェックシートにスタジアムまでの交通手段を記入。エコ交通の利用により削減される CO_2 量を公式サイトに掲載し周知啓発。
（協力：静岡県地球温暖化防止活動推進センター）

参加人数
568 人

CO_2 排出削減量
約 3.5 トン

※ 静岡県地球温暖化防止活動推進センター調べ

気候変動：CHALLENGE with PARTNER

3 CHALLENGE with PARTNER　パートナー（企業・団体など）と共に環境問題に取り組みます。

25年度の主な活動実績

静岡市 × エスパルス デコ活啓発

静岡市と連携して、地元企業３社の協力のもと、環境省が推進する脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」の啓発を実施。未来の発明品アイデア募集や省エネ家電買換促進など様々な企画を展開。

デコ活企画参加人数

延べ 約 900 人

SDGs環境教育プログラム：雑紙リサイクル

コアレックス信栄株式会社と協働で雑紙を集めてトイレットペーパーにリサイクルする活動を実施。年間を通じてクラブ施設にて回収を行い、短期プログラムとしてホームゲームやサッカー大会と連携した企画等も展開。

雑紙回収量

約 35.5 トン

CO_2 排出削減量

約 27.7 トン (※1)

校庭・園庭の芝生化

エスパルス三保グラウンドの整備作業の際に生じる廃材を利用したポット苗方式にて「しずおか校庭芝生化応援団」が進める、県内の小中学校、幼稚園・保育園、その他施設の校庭・園庭の芝生化に協力。

関連イベント参加人数

延べ 約 620 人

芝生化された施設数

6 ヵ所

※ コアレックス信栄㈱提供値により算出 ※紙パックを基に試算
※1：算定対象期間は 2025年1月～12月

気候変動：CHALLENGE OURSELVES

4 CHALLENGE OURSELVES　脱炭素社会の実現へ、クラブ自らも挑戦します。

25年度の主な活動実績

再生可能エネルギーの導入

2025年2月よりクラブ関連全施設にて『静岡県産100%実質再生可能エネルギー電力』を導入。(パルちゃんでんきforBiz協力:鈴与商事株式会社、鈴与電力株式会社)

CO_2 排出削減量

約 416 トン (2024 年度比) (※1)

※鈴与商事㈱提供値により算出
※1：比較対象期間は2024年２月～2025年１月

リモートワークの推奨

クラブスタッフの勤務形態において、リモートワークやサテライトオフィス活用を推奨することで、通勤移動に係る環境負荷を軽減。

移動距離削減

約 33,000km

CO_2 排出削減量

約 3.1 トン

※ 静岡県地球温暖化防止活動推進センター調べ

エコカーの導入

CO_2 排出量削減のため、社有車を順次エコカーへ切り替え。

エコカー使用による想定 CO_2 排出削減量

約 3.3 トン (※2)

※ 静岡県地球温暖化防止活動推進センター調べ
※2：算定対象期間は 2025年1月～12月